

## ● 本市クラウド上に構築する場合(サーバ仮想化環境)

- 1) 情報システムは、クラウド仮想サーバ(VM上)のゲストOSにインストールし、動作すること。物理サーバの導入は認めない。
- 2) 情報システムの入出力データやバックアップデータ等は、クラウド仮想サーバ(VM上)と接続したストレージに格納すること。
- 3) クライアント仮想環境は、Citrix Virtual Apps及びシンクライアント、Edge及びOffice2016で構成されており、基本はWebシステムで動作すること。「Citrix Virtual Apps」へのクライアントモジュール等のインストールが必要なC/Sの場合は、情報政策課に相談し検証すること。
- 4) 仮想サーバ及びCitrix Virtual Appsのハードウェア及びソフトウェア、WindowsゲストOS、WindowsCAL、ウイルス対策ソフトは情報政策課で用意する。各情報システム側では、ミドルウェア・DBソフト・アプリケーションソフト・クライアントモジュール(ライセンス)を用意し、設定すること。

## ● クラウド型、ASP・SaaS型の情報システムの場合(クライアント仮想化環境)

- 1) 情報システムは、クライアント仮想環境であるCitrix Virtual Apps及びシンクライアント、Chrome(インターネット環境のみ)・Edge及びOffice2016で動作すること。また、ActiveX等のダウンロードが必要な場合は、情報政策課に相談し検証すること。なお、ユニバーサルWindowsプラットフォーム(UWP)のアプリの動作はサポートされていない。

